

UiPath-RPAv1

UiPath RPA アソシエイト資格試験

v1.0

試験記述文書

目次

UIPATH 2020.10 の試験内容を更新	4
試験内容が UIPATH 2020.10 から 2021.10 に更新されました	4
試験概要	4
想定受験者	4
最低限の受験資格を持つ候補者	4
製品	5
試験範囲	5
試験項目	5
RPA の基礎	5
UiPath Studio の概要	6
変数と引数	6
セレクター	6
制御フロー	6
データ操作	6
UiPath の自動化概念とあらゆるテクニック	7
UiPath Orchestrator の概要	7
環境、アプリケーション、ツール	7
推奨されるトレーニング、ハンズオン経験、実務経験	7
推奨試験準備	8
試験の詳細	9

重要な注意点

UiPath は、不正行為や誤った情報の兆候がないか、インターネット上におけるあらゆる活動を監視しています。

UiPath は、偽の試験や情報をユーザーに販売している多数の悪徳サイトがあることを認識しています。

本試験の悪用・不正行為であると判断される場合は、直ちに法的措置を講じます。

また、UiPath 認定資格受験者は、悪徳サイトのサービスの購入はしないようにお願いします。

UiPath 2020.10 の試験内容を更新

試験内容が UiPath 2020.10 から 2021.10 に更新されました

試験の準備には、強調表示されたコース (該当する場合) と試験のトピックを含めてください。

試験概要

UiPath 認定 RPA アソシエイト (UiRPA) 認定者は、シンプルな RPA ソリューションの設計や開発を行い、UiPath 自動化プロジェクトにおいて、経験豊富な RPA 開発者が率いる自動化チームの一員であることが期待されています。

この試験では、UiPath Studio、UiPath Robots、UiPath Orchestrator などの UiPath 製品を使用して、問題解決、業務分析、**シンプルな**自動化ソリューションの構築に関する知識とスキルを評価します。

本試験は、上級 RPA デベロッパー、ソリューションアーキテクト、または RPA アーキテクトになるための知識とスキルの評価に活用できます。

想定受験者

次のような項目、および役割が含まれます。

- RPA デベロッパー 初心者
- RPA デベロッパー
- ソリューション アーキテクト
- ビジネスアナリスト
- システム管理者
- 大学生、または卒業生
- プリセールス、サービス、サポートなどの役割を担う UiPath 社員、およびパートナー社員

最低限の受験資格を持つ候補者

最低限の受験資格を持つ候補者は次の項目が含まれます

- 約 3–6 か月の、UiPath Studio、UiPath Robot、UiPath Orchestrator などの各種 UiPath コンポーネントを使用したハンズオン経験
または
- UiPath アカデミー、UiPath 認定パートナーによる学習コンテンツを修了している

製品

試験に関する製品は次のとおりです。

- UiPath Studio バージョン 2021.10
- UiPath Robot バージョン 2021.10
- UiPath Orchestrator バージョン 2021.10

試験範囲

本試験には、次の試験項目が含まれています。

- RPA の基礎
- UiPath Studio の概要
- 変数と引数
- クラシック セレクター
- 制御フロー
- データ操作
- UiPath の自動化概念と、あらゆるテクニック
- UiPath Orchestrator の概要

試験項目

最小資格候補によって実行されるタスク：

RPA の基礎

- 自動化できる業務プロセスを特定できる
- ロボットの種類 (Attended ロボットと Unattended ロボット) の説明ができる

- UiPath 製品、主に Studio、Robot、Orchestrator の機能について説明できる

UiPath Studio の概要

- デバッグ機能と使用方法を理解し、説明できる
- パッケージの管理方法を説明し、説明できる
- バージョン管理ソリューションの重要性を理解し、説明できる

変数と引数

- 変数の種類、変数の使用方法、管理方法、および変数スコープに関するベスト プラクティスについて説明できる
- 変数の使用と引数の使用用途について説明できる
- 引数パネルでの引数の使用方法、管理方法、および引数の方向を設定する際のベスト プラクティスについて説明できる

クラシック セレクター

- 動的セレクターと静的セレクター説明し、使用方法をデモンストレーションできる
- 部分セレクターと完全セレクターの使用方法を説明できる
- アンカーを使用する方法とタイミング説明できる
- 信頼性のあるセレクターの使用方法和 UI Explorer を使用してセレクターを変更する方法を説明できる

制御フロー

- 制御フロー アクティビティの使用方法、シーケンスやフローチャートなどのワークフローの種類、およびそれらの機能について説明できる
- If、Switch、While、Do While、For Each など、さまざまな制御フローアクティビティを説明できる
- エラー処理の重要性と実装方法について説明できる

データ操作

- データ操作の重要性と使用方法について説明できる

- データ操作において、文字列操作がどのように使用されるかについて説明できる
- データ操作において、コレクションやデータテーブルがどのように使用されているかを説明できる

UiPath の自動化概念とあらゆるテクニック

- 電子メールの自動化の使用方法を説明できる
- Excel とデータテーブル関数、およびデータ操作に使用できる Excel アクティビティを説明および活用できる
- .pdf ファイルからデータを抽出するために使用するアクティビティ（例えば、OCR を使用）について説明できる

UiPath Orchestrator の概要

- プロセス実行における UiPath Studio、Robot、Orchestrator の関係について説明できる
- UiPath Orchestrator のキューとアセットの使用方法を説明できる
- UiPath Orchestrator にパッケージをパブリッシュする方法を説明できる

環境、アプリケーション、ツール

以下の環境、アプリケーション、およびツールを活用できる必要があります。

- Microsoft Windows
- UiPath Studio
- UiPath Orchestrator
- 仮想環境 (VM)
- ブラウザ (IE、Google Chrome など)
- バージョン管理
- Microsoft Office および / または Microsoft Office Suite
- メモ帳++ (またはその他のテキスト エディター)

推奨されるトレーニング、ハンズオン経験、実務経験

UiPath™ Academy

以下は、最低限の受験資格を持つ候補者 (MQC) が本試験の準備に推奨される学習パスです。

- UiPath アカデミー トレーニング :

1. [RPA デベロッパー基礎](#)

または

- 試験の準備のために、このドキュメントに記載されている学習項目を網羅するトレーニングを受講

または

- 以下の実務経験 :
 1. Attended ワークフローの開発
 2. Unattended ワークフローの開発
 3. Proof of Concept (POC) – 作成、またはデモ実施の経験
 4. アプリケーションの変更やコード変更の経験
 5. ピア コード レビュー の経験
- UiPath Studio、UiPath Robot、UiPath Orchestrator などの各種 UiPath コンポーネントを使用したハンズオン経験

推奨試験準備

推奨される学習パスに加えて、この実習テストは、本試験に備える追加の学習ツールです。

- [練習問題](#)

試験の詳細

認定プログラム	UiPath 認定プロフェッショナル 1. ゼネラル対象プログラム 2. RPA デベロッパー対象プログラム
専門	RPA デベロッパー
資格 情報	UiPath 認定 RPA アソシエイト v1.0 (UiRPA)
試験番号と試験のタイトル	UiPath-RPAv1 - UiPath RPA アソシエイト資格試験 v1.0
前提条件の試験/認定資格	前提条件ではありませんが、UiPath RPA デベロッパー上級資格試験 (UiARD) 認定を取得する方には UiRPA を強くお勧めします
試験時間	90 分
合格スコア	70%
試験料金	英語版 \$150 (税別)/日本語版 ¥ 16,000 (税別)

著作権© 2020 UiPath Inc.またはその子会社。すべての権利予約。UiPathおよびその他の商標は、株式会社UiPathまたはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の財産である場合があります。